**限られた時間の中で伝えたいことをまとめられるか**

時間設定の中で、どれだけ自分を表現できるか、自分はどんな人間なのかを理解し、整理できているのか、といった点を企業側は見ています。面接官は初対面の相手に対して客観的に評価しなければならないため、全員に同じ条件を与えることは合理的です。その同じ条件の中で自分をアピールするためには、相手に理解してほしいことの優先順位をつけて整理しておき、何を伝えたいかも事前に明確にしておく必要があります。そのなかで設定時間の枠組みのなかでその都度構成立てられるようにしましょう。1分間は思ったよりも短いので、具体的なエピソードを入れるよりも自分の人物像を端的に表現できる表現を選定する必要があります。

#### 声の大きさやトーンなどの「話し方」も見ている

採用担当者は面接者の話す内容はもちろんですが、その人物を知るために話し方や立ち振る舞いも見ています。伝えたい内容にもよりますが、声の大きさや声のトーンも自分を表現するツールとして活用する必要があります。元気さを伝えたいのであれば大きめの声でハキハキと話す、真面目さを伝えたいのであれば丁寧な言葉づかいで話し手の反応を見ながら話すなどの工夫をすると良いでしょう。このようにどんな人物かを知りたい企業は、あらゆる部分を見ていると思っておきましょう。

#### キーワードでコンパクトに伝える

ただ単に自分の所属や名前、強みについて述べるのではあえて１分プレゼンにする意味がありません。限られた時間の中で相手に伝えたい情報を伝わりやすい形で伝えることが求められています。これは企業にとって有益な人間であることをアピールする良い場になります。働き始めてからもメールや電話、口頭での報告などで必要とされる方法で、タイミングよく必要な情報を簡潔に伝えるための大切な要素になるからです。

#### 伝えたいことを1点に絞る

１分という限られた時間ですので、あれこれと述べていると話の内容の軸がブレてしまいやすくなります。結論を最初に言い、次に理由を言うと聞き手にとってわかりやすいですし、話し手にとっても結論が決まっているのでより落ち着いて話すことができます。